

出産手当金請求書

東京貨物運送健康保険組合

(注意事項) (被保険者)
①と⑤は、健康保険証に書いてあります。
②は「一貸金支払内訳票など」をご参考になさってください。
③は「分娩前、分娩後」の別、④のAは、それぞれ該当する文字を丸でかこんで下さい。
⑦の出産手当金は、女子被保険者が分娩のため事業所の勤務を休んだため賃金が受けられない場合に支給されるもので、分娩日以前給付金の受領方を他人に委任するときは(銀行振込の場合は口座名義人に委任)委任状に記入して下さい。
⑧が支給されます。

①	被保険者証の記号と番号	記号	被保険者の氏名(フリガナ)	フリガナ
③	被保険者の現住所	〒 電話番号 ()		
④	事業所の名称			
⑤	被保険者の資格を取得した年月日	昭和・平成・令和 年 月 日	⑥ 被保険者の標準報酬月額	千円
⑦	(A)	この請求は分娩前のものですか、分娩後のものですか		分娩前・分娩後
	(B)	分娩年月日及び分娩予定年月日	令和 年 年 月 月 日 日	分娩 日 日 分娩予定
⑧	分娩のために休んだ期間	令和 年 年 月 月 日 日 日間		
⑨	(A)	上記⑧に書いた期間の分の報酬を受けましたか、または今後受けられますか。	受けた 今後受ける	受けない 今後受けない
	(B)	上記⑧で報酬の支払があるときは、その報酬の額と支払の基礎となった(なる)期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	円

令和 年 月 日提出

受付日付印

⑩ 支払希望銀行等 (該当する番号を○でかこみ必要事項を記入して下さい)				
1. 被保険者名義の口座に振り込み	銀行・信金 信組・農協			
2. 委任状 (口座名義が代理人の場合にご記入ください) この給付金の受領を下記の者に委任します。	金融機関名	本店 支店		
請求者氏名	支店番号 ()	預金種別 口座番号	普通 当座	No.
受取代理人	住所 〒 -	口座名義 法人 個人	カタカナで記入して下さい	
	氏名			
	受取代理人の口座に振込んで下さい。			

⑪	労務に服することができなかった期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	期間	締日	支払日	当月 日 翌月 日
⑫ 上の期間中の分として支払う報酬関係	⑦ 全額支払した場合または支払する場合	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	金 円 の分として 日額金 円	月 日支払		
	⑧ 一部支払した場合または支払する場合	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	金 円 の分として 日額金 円	月 日支払		
	⑨ 現在までもまた将来も支給しない場合は、その旨	⑩の支払内訳	基本給	円	精勤手当	円
			役付手当	円	通勤手当	円
			家族手当	円		円
住宅手当			円		円	
⑬ 上記のとおり相違ないことを証明します。	令和 年 月 日			事業所所在地		
				事業所名称		
				事業主氏名	電話 - -	

(事業主) ⑭の「全額支給」または「一部支給」とは一日当りの賃金の全部または一部の意味です。
⑮の①と②にわたるときは、③の「一貸金支払内訳票」を記載して下さい。
④欄の「一死産」を丸でかこんだ場合は、妊娠幾週の死産であるかを当該欄に付記して下さい。
請求に際しては被保険者の賃金台帳、出勤簿をご提示下さい。

⑭	分娩年月日及び分娩予定年月日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	分娩 日 日 分娩予定		
⑮	分娩後のときは正常分娩又は異常分娩の別	正常・異常	⑯ 分娩後のときは、生産又は死産の別及び出産児の数	生産 死産 (妊娠 週) 単胎 多胎 (児)	
⑰	入院して分娩したときは、その期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	日間		
⑱	入院費用の別	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	自費・公費・その他		
⑲	上記のとおり相違ありません。 令和 年 月 日		⑳住所		
	㉑職名 ()		㉒氏名		
			電話番号 ()		

(医師又は助産師) ⑳・㉑の欄は、それぞれ該当する文字を丸でかこんで下さい。
㉒欄の「一死産」を丸でかこんだ場合は、妊娠幾週の死産であるかを当該欄に付記して下さい。